

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 30. 6. 6 第 196 回国会第 16 号

6 月 6 日（水）、第 16 回の委員会が開かれました。

1 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 41 号）

- ・世耕経済産業大臣、大串経済産業大臣政務官、笹川環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新、菊田真紀子君（無））
- ・城内実君外 5 名（自民、立憲、国民、公明、無会、維新）から提出された附帯決議案について、山崎誠君（立憲）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。
（賛成一自民、立憲、国民、公明、無会、共産、維新、菊田真紀子君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

山崎誠君（立憲）

- ・報道によると仏政府が高速炉（ASTRID）の開発計画を縮小するとされているが、これを受けて仏と高速炉開発で協力する我が国の核燃料サイクル計画にどのような影響があるのか、政府の見解を伺いたい。
- ・政府は自然冷媒及びフッ素系冷媒を総称したグリーン冷媒という用語を用いているが、人工の化学物質であるフッ素系冷媒の人体や環境への影響を踏まえると、混在させるべきではないと考えるが、政府の見解を伺いたい。

山岡達丸君（国民）

- ・鉄鋼や自動車などの貿易問題に関し、OECD 閣僚会合等で、アメリカ通商代表部のライトハイザー代表と何を話し、どういった手ごたえがあったのか、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・日本がグリーン冷媒に関して世界に先駆けて技術開発を行うことの意義について、世耕経済産業大臣に伺いたい。

田嶋要君（無会）

- ・フッ素系冷媒の開発にインセンティブを与えることは自然冷媒への転換や技術開発を阻害することになると考えるが、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・欧州や中国と比較して、我が国の代替フロン規制の取組が遅れているとの報道に対する政府の認識を伺いたい。

谷畑孝君（維新）

- ・我が国の産業政策における化学工業の重要性に対する認識及び今後の取組方針について、世耕経済産業大臣に伺いたい。
- ・本改正案により代替フロンを規制することで、事業者及び我が国産業にどのような影響があるのか伺いたい。

國重徹君（公明）

- ・自然冷媒であろうとフッ素系冷媒であろうと、人体や環境への必要な影響評価を行った上で事業者による適正な利用が進められるべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・グリーン冷媒及びその活用機器の開発は、海外の代替フロン削減に資するとともに冷凍空調産業の競争優位の確保につながると思うが、現状と課題及び開発促進に向けた経済産業省の姿勢を伺いたい。

岡下昌平君（自民）

- ・新たな HFC 規制の具体的な運用、とりわけ年内にも行われる事業者別初年度分割当の工程及び事業者のインベション推進のための方策について、政府の見解を伺いたい。
- ・次世代冷媒のリスク評価手法の確立が、どのように我が国の冷凍空調産業の国際競争力強化に繋がるのか、政府の見解を伺いたい。

笠井亮君（共産）

- ・我が国を含めた先進国は温室効果ガスを排出してきた責任を踏まえ、代替フロン削減義務を率先して果たしていくべきだと考えるが、世耕経済産業大臣の所見を伺いたい。
- ・第190回国会における温対法改正の際の参議院環境委員会での附帯決議を踏まえて、生産者にフロン類回収費用を負担させて自然冷媒への転換を促してはどうかと考えるが、政府の見解を伺いたい。